

# 施策マネジメントシート

作成日 平成 28 年 8 月 22 日

施策	1 2 憩いと癒しの空間づくり		
施策 主管課	まちづくり整備課	氏名	神宮寺 隆
		施策 関係課	農林振興課、市民活動支援課

## 1. 現状把握 Plan→Do

### (1) 施策の目的と指標

① 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ◇市民 ◇区域	③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位)
	a 笛吹市の人口<山梨県笛吹市住民基本台帳行政区別人口統計表(4月1日現在)> 人
	b 笛吹市の面積 km <sup>2</sup>
② 意図 (対象をどういう状態に変えるのか) ◇花や緑に囲まれ、身近に自然とふれあうことができる。	④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位)
	d 市民一人当たりの公園・緑地面積 m <sup>2</sup>
	e 花づくり団体数 団体
⑤ 成果指標設定の考え方 ◇身近に自然とふれあうことができるかを市民に聞く。 ◇花や緑に囲まれ、身近に自然とふれあうことができるかを、市民一人当たりの緑地面積(都市公園、その他の公園)で判断する。	f 身近に自然とふれあうことができている市民の割合 %
	g 公園を利用している市民の割合 %
	h
	⑥ 成果指標の取得方法 ◇まちづくり基礎調査⇒設問「あなたは、地域が花や緑にあふれ、身近に自然とふれあうことができていると感じていますか。」 ◇緑地面積は、市町村別公共施設状況調の面積を使用。 ◇まちづくり基礎調査⇒設問「あなたは、市内の公園を利用していますか。」

			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
			実績、決算	実績、決算	実績、決算	実績、決算	実績、決算	実績、見込み	最終目標	
対象 指標	a 笛吹市の人口<山梨県笛吹市住民基本台帳行政区別人口統計表(4月1日現在)>	人	見込み値	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	
		実績値	72,192	72,145	71,724	71,132	<b>70,749</b>			
	b 笛吹市の面積	km <sup>2</sup>	見込み値	201.92	201.92	201.92	201.92	201.92	201.92	
		実績値	201.92	201.92	201.92	201.92	<b>201.92</b>			
	c		見込み値							
		実績値								
成果 指標	d 市民一人当たりの公園・緑地面積	m <sup>2</sup>	成り行き値	8.51	8.52	8.49	8.70	8.70	8.70	
		目標値	8.52	8.53	8.49	8.70	8.70	8.70	9.15	
		実績値	8.49	8.65	9.41	9.52	<b>9.60</b>			
	e 花づくり団体数	団体	成り行き値			65	65	65	65	
		目標値			67	70	72	74	76	
		実績値	(65)	(65)	64	73	<b>73</b>			
	f 身近に自然とふれあうことができている市民の割合	%	成り行き値	68.0	68.0	69.2	69.2	69.2	69.2	
		目標値	72.0	70.4	71.1	71.8	72.5	73.3	74.0	
		実績値	69.7	73.4	68.3	-	-			
	g 公園を利用している市民の割合	%	成り行き値	36.0	36.0	37.4	37.4	37.4	37.4	
		目標値	38.0	39.0	39.4	39.8	40.2	40.6	41.0	
		実績値	38.6	40.8	38.9	-	-			
h		成り行き値								
	目標値									
	実績値									
施策コスト	事務事業数		本	8	8	4	3	3		
	施策に係る事務事業の コストの合計 (評価外を含み、繰越分を除く)	事業費 (A)		千円	75,775	102,047	116,498	86,618	88,555	
		うち一般財源 (A')		千円	52,549	60,157	65,487	86,478	75,165	
		人件費 (B)		千円	16,414	16,402	15,035	15,501	9,163	
		トータルコスト (A+B) (C)		千円	92,189	118,449	131,533	102,119	97,718	
うち一財 (A'+B) (C')		千円	68,963	76,559	80,522	101,979	84,328			

### (3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

●後期基本計画策定に伴い成り行き値、目標値の再設定を行った。  
 ◇身近に自然とふれあうことができている市民の割合:成り行き値はH20年度実績値程度を据え置く。目標値はH24年度実績値を基に毎年0.3%ずつ向上と設定する。  
 ◇市民一人当たりの緑地面積:市町村別公共施設状況調から、成り行き値は人口の推移等を考慮し設定。目標値は、H25年度までは人口の推移程度で設定。  
 「緑の基本計画(公園整備計画)」はH30年度に9.3m<sup>2</sup>を目標と設定。  
 ◇公園を利用している市民の割合:成り行き値はH21年度実績値程度を据え置く。目標値はH23年度実績値を基にH24年度に39%と設定。  
 ◇花づくり団体数:成り行き値はH24年度実績値(65団体)程度を据え置く。目標値はH24年度実績値を基にH26年度までに70団体と設定し、H27年度以降は毎年2団体の増で設定した。

### (4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

<b>ア) 住民の役割</b> (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと) ◇市民は、広場・公園の清掃管理や花の植栽を行う。自宅に庭木を植える。行政が行う自然とふれあうイベントや緑化イベントに積極的に参加する。 ◇地域は、公園や広場でイベントを開催する。	<b>イ) 行政の役割</b> (市・県・国がやるべきこと) ◇市は、公園を管理する。団体や地域の植栽・緑化活動を支援する。 ◇自然とふれあうイベントを支援する。 ◇街路樹を整備する。
--	---

(5)環境変化 (対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか?)

◇公園管理業務の一部に指定管理を導入した。  
◇H22年度に緑の基本計画を策定した。  
◇H27年度リニアの見える丘整備事業を実施し、完成した。  
◇植樹祭を毎年開催。H28年度に県民緑化まつりを開催予定。

(6)関係者の意見・要望 (住民、議会、対象者、利害関係者等)

◇市民…子供が安全に遊べる場所や高齢者が安心してのんびり過ごせる場所がほしい。笛吹川沿岸や水辺空間の環境整備を進めてほしい。一人ひとりの意識を高めて笛吹の美しい山や川の自然を守りたいとの意見がある。

2. H27年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

Table with 2 columns: ① 目標達成度評価 (前年度目標値と実績値との比較), ② 時系列比較 (過去3か年の比較), ③ 他自治体との成果実績値の比較. Includes checkboxes for target achievement and comparative results, and detailed explanatory text on the right side of each row.

(2)施策のコスト実績 (対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト)

Table with 7 columns: 対象指標名称, (単位), 25年度, 26年度, 27年度, 効率性評価. Rows include: \*対象指標実績値 (D), \*対象1単位当たり事業費, \*対象1単位当たり人件費, \*対象1単位当たりトータルコスト.

(3)施策の現状と課題の総括

◇H27年度の1人当たり緑地面積は9.60㎡となっており、H22年度に策定した「緑の基本計画」に基づく1人当たりの緑地面積(H30年度に9.3㎡)を達成した。H40年度の10.0㎡の目標に向け、一層の推進を図る必要がある。  
◇憩いと癒しの空間づくりのために、緑化推進事業に基づき毎年度植樹祭を開催しているが、なお一層、緑化思想の普及啓発に努める必要がある。  
◇花のまちづくり推進事業については、更なる市民自らが花に親しみ潤いのあるまちづくりの市民意識の啓発に努める必要がある。

3.後期基本計画の取り組み方針(29年度) Action

(1)現状と課題から導き出した次年度の取り組み方針

◇緑の基本計画において目標としている緑地面積の増加が図れるように努める。  
◇緑化推進事業に基づき毎年度植樹祭を開催し、緑化思想の普及啓発を図る。  
◇花のまちづくり推進事業については、広報等を活用し市民意識の啓発に努める。

(2)施策の対象を、目標に導くための次年度の手段

◇公園維持管理事業を実施し、既存の公園を市民の憩いの場として快適に利用していただけるように整備する。  
◇緑化思想の普及啓発を図るため、緑化推進事業に基づき植樹祭を開催する。  
◇緑化思想の普及啓発を図り、花や緑に囲まれた自然とふれあうことができる環境を創出をしていただける花づくり団体を募集する。